

【知事からの説明】

新田知事より 資料（別添）により富山県成長戦略会議「中間とりまとめ」について説明

【グループ発表】

①

朝日町のPRと高齢者に関わることをテーマにしました。私も地元でボランティアをしておりますので、ちょっと町の案内します。5300年前に朝日町で国の指定になった遺跡、これは初めて縄文時代で大きな建物ができたってことですね。それから海岸のほうでは勾玉をつくっていた縄文人のところもあります。鎌倉時代、木曾義仲と関連のある宮崎太郎長康の話がでてきます。江戸時代に入りますと、加賀藩の境関所一里塚。境関所はお殿様が181回参勤交代でお泊りになったところ。次に明治時代に入りますと明治天皇が朝日町にお泊りになったところもございます。そういう中で私たちは長いこと勉強していきたくて県のほうでは30年前にボランティアガイドを県の観光課で私たちに指導してくださいました。今後ともそれを復活していただきたいと思います。

朝日町は44%が高齢者。高齢者の生きがいを求めた活動をしていこう。高齢者の活躍を確保していこうということです。

知事：ぜひまずは観光客も大切なのですが、地元の子どもたちにふるさと教育、ふるさとの歴史文化、子どもたちが喋れるようにしていただきたいと思います。ふるさとを知って誇りが生まれる、そして子どもたちが県外へ海外へ知見を広げ勉強しに行く。私も海外へたくさん出ましたが、「お前のふるさととはどんなところなんだ？」と聞かれるんですよ。私は大化の改新とかそんなことは知っていても、実は富山の歴史をほとんど知らなかった。そんな恥ずかしい思いもしました。ぜひ朝日町の子どもは地元のことをちゃんと語れるようになってほしいです。それからリカレント教育というものに力を入れています。元気に働いていただくと同時に元気に学んでほしいんですね。かつては20年勉強して40年働いた後は余生なんて言ったのですが、今もう違います。100年働いて100年勉強し100年元気に生きる。幸い健康寿命も伸びています。富山県も。順位が下がっちゃって報道されましたが、実数は伸びているので。元気に働き元気に学び生きていく、そんな施策を進めていきたいです。

町長：ふるさと教育は来年4月しっかりと取り組んでいきたいです。高齢者が生涯現役で頑張れる。藤野さんが富山に講演されたときに「元気な方がそうでない方を支える」年齢で区切るのではなくそういうポイントで進めばいいのかなと思います。高齢化率が高いことは決して悪いことではないと思っておりますのでぜひ後期高齢者のコウキは気品ある「高貴」ということで年齢関係なく頑張れるまちづくりに励みたいと思います。

②

DXを活用したベンチャー育成を絡めて新産業戦略をテーマにしました。DXを活用した健康寿命を推進するという。風力・太陽・バイオマス発電を有効活用し資金を捻出するという。ジビエ料理の商品化。観光野菜畑。新たに朝日町独自の野菜をつくり観光客を誘

致するという事です。泊高校跡地のサテライトオフィス。チャレンジする人の育成。ワーケーションのまち。高齢者のDX教育。グリーンファイナンスの創立と支援。スタートアップのまち。ベンチャー企業の育成。空き家のサテライト拠点化。外国人労働者の受け入れ。朝日町企業へ就職者への支援。

その中で特に力を入れていきたいのは発電に基金を創立するという事です。ベンチャー企業の育成についても何事にもお金が必要になります。その支援の資金を発電でもって創出し、朝日町でベンチャー企業を起こそうという人たちを支援していきたいということが一番の課題だと考えています。

泊高校跡地のサテライトオフィス。外から企業を誘致するにあたりまして、サテライトオフィスが必要になっていきます。空き家を改良して人口増に繋げていく。

朝日町から高校を卒業して町外へ出ていく人が多いです。朝日町で就職する人、町外から就職してくれる人へ金銭的に支援をすることによって人口増加に繋げていきたいということが重要だと考えています。

知事：健康寿命の上でもDX・デジタルを大いに使っていこうという世の中もそんな方向だと思います。県でも『元気富山かがやきウォーク』というウォーキングに使えるアプリを出しています。デジタルというとお年寄りとは…と思いがちなのですが、今70代の方の7割はLINEを使っておられるということなので、もうそういう時代なんですよ。高齢の方もデジタルを活用して生きがいを感じていただけるようにしていく方向でやっております。それから再生エネルギーのことを考えておられる方がたくさんいるので、朝日町すごいなと思っています。さらにそれで稼いでその資金でスタートアップを応援しようというストーリーができたらいなと思いました。県としてもぜひ一緒に考えさせていただきたいと思えますし。それからワーケーション。ぜひさらに磨いていっていただければと思います。

町長：再生可能エネルギー、キーワードにありました。新田知事はじめ三牧さんにもご尽力を得ておりますので、しっかりと創設に向けて頑張っていきたいと思えます。DXはご存じのように博報堂からの申し入れで10月に協定を結ばさせていただきました。併せてSX、サステイナブルなことも必要になってくるかと思えます。今後企業さん民間の知恵を借りながら町民のみなさんの豊かなる生活を目指して頑張りたいと思っておりますし、何より町民のみなさんのご理解があって県民のみなさんのご理解があって富山県がより幸せな人口1000万人になると思っておりますのでよろしくお願ひします。

②

幸せまちづくりチームです。個性的なまちづくりというテーマで集まりました。再生エネルギーを利用した地産地消での朝日町のエネルギーの自立を目指す。風力・小水力・太陽光・バイオマス発電だけでなく例えば洋上風力を利用した漁業者の育成。木質バイオマスを利用するために林業家の育成。第一次産業にもテコ入れしながらのエネルギー。こういったことを目指したい。

朝日町には山・川・海・平野と自然がたくさんあります。それぞれの自然を活かして0~100歳まで学びの場を設けて、その中で高齢者の生きがいを見つけたり。それぞれやりたいことを見つけたり。それぞれの場所でそれぞれの体験なり勉強をしながら、自分たちの生きがいを見つけていくチャンスを産み出せるまちにすればいいのではないかとということです。

富山県版地域おこし協力隊という組織を作って頂いて、能力を持ったあるいは起業を目指す全国から人材を集めるとおもしろいのではないかと提案させていただきます。

知事：エネルギー自立を目指す。確かにそういう動きは各地で出始めています。いわゆるオフグリッドという。自立して成り立たせる。ぜひ実現に向けてご相談に乗りたいと思います。三牧さんも対応できる部分があるのではないかと思います。バイオマスのための林業も大切ということ。おっしゃる通りで。木は育つのに長い時間がかかりますが早生樹、早く育つ木もあります。5年で育っちゃう。それをエネルギーにしていく。そんなことも可能な時代だと思います。

町長：「幸せ人口1000万」最初聞いたときにはピンと来なかったのですが今日の新田知事のお話の中で、イコール関係人口ということでストーンと納得しております。再生可能エネルギーは地産地消型。非常に大事なのかなと思っています。小泉環境元大臣が「日本経済新聞が環境新聞に変わったのではないか」というくらい常に環境・再生可能エネルギーを取り上げている現状です。カーボンニュートラルに向けてなど、日本には再生可能エネルギーが必要不可欠だと思っています。朝日町から富山県、富山県から地産地消再生可能エネルギーに向けて、まちづくり、県づくりにしっかり取り組んで参りたいと思います。

④

チーム絆です。22のアイデアが出ました。大きく2つアイデアができました。

ひとつ目は、若い女性を呼びたいということで、どうやったら戻ってきたくなるか。ヒスイ海岸やヒスイテラスなど注目してくれている人がたくさんいるので、興味を持って来てくれた人にヒスイテラスにカフェを作ること、そこでゆっくりしてもらおう。朝日町の方でも簡単に行けるような場所として、人が集える場所として、カフェを併設するのはどうかというアイデアができました。

もうひとつは、人の繋がりというところで、まちのスポーツイベントに違うジャンルの人を呼びたい。スポーツを通して人と関わるってなると、人のつながりがより強くなっていくイメージがあるので、今の町民大会はすごく限られた人たちが出ているとか年齢制限があって限定的になっている部分もあるので、もっといろんな人に参加してもらって、スポーツを通して人のつながりを強めていくことができればいいなと思いました。

知事：22個、すごい。ヒスイテラス、素敵なところ。まず地元の人が、朝日町民全員がそこへ行ってコーヒー飲みましたということにしたいですね。楽しそうにしていらっしゃる朝日町の人たちの姿を見て人もそこに寄ってくるんだと思います。私たちの幸せな暮らしが観光資源になる時代なんです。名所旧跡はだいたい多くの人を経験された。あとは朝日町の人にはどんなことをやってこんなにみんなにこにこして幸福度ランキングが高いんだ！と、そんなことに興味を持っていただいています。ああ、ヒスイテラスがあるんだ。そんな風に自慢できる、まずは地元の方が自慢できる、発信していただくことをお願いしたいと思います。そしてスポーツの力、大きいと思っています。富山マラソン、今年開催できました。県外の方多かったです。とても喜んでいただいた姿を見て、またそれを支えるボランティアの方もいきいきしておられました。応援する人たちも、拍手や伝統芸能などで応援していただ

きました。みんなが関係者です。富山マラソンで関係人口がどっと増えたということです。スポーツの力、大いに活かしてきたいと思います。

町長：コロナ禍になる前から地域のコミュニティをどうするか。コロナ禍で特にお祭りができなかつた中で非常に心配であります。ビーチボールの全国大会が2年連続でなくなったりとか。スポーツの力、地域のお祭りの力というのは本当に大事な、コミュニティづくりには必要不可欠だと思っています。人と人との繋がりをどう構築し信頼関係を増やし、足元を見ると意外と朝日町がよかったねと気づくか気づかないかは大きなキーワードかと思っています。ひとりひとりがプラス思考で考えていくことが大事かと思っています。

【参加者感想】

参加者：みなさん意見をたくさん持っていて良いメンバーだったなと思います。これを町で繋げていかなければと思いました。

参加者：みなさんとお話しして、朝日町もまだまだ捨てたもんじゃないなと改めて思いました。朝日町のためにまだまだこうしたいという熱い情熱を持っている方非常に多いので、ぜひこういった意見がみなさんでこの輪が広がって朝日町全体、富山県全体で盛り上がっていったらと思いました。

参加者：企業誘致とか人を増やそうとか、そのためには町民のみなさんが協力して資金もなんか出してあげなきゃいけないという意見が出まして非常に参考になりました。

参加者：みなさんがおっしゃったこと、全部言いたいことでした。一番私が感動しているのが、知事がこのように私たち県民と話し合いをしてくださったことが幸せな事でした。

参加者：朝日町は高齢化率45%です。今ある資源をもっと大切にしなければということですが、これだけ高齢者が多いのに高齢者をまず元気にしないと。町で介護教室をいっぱいやっています。男性ほとんどいない。ほとんどが女性です。なぜ男性がいないのか。ウォーキングの歩数に応じて現金を与えると。マイナンバーカードを活用して。年に2回ほど表彰すると。元気な年寄りが増えるといろんなことができるんです。もっと高齢者がいきいきするような策を設けたほうが良いと思います。今日は大変参考になりました。

参加者：たくさんの方の意見が聞けてとてもよかったです。これから未来のある小中高校生を交えて子どもたちにまちのことを考えてもらえる教育を進めていけたらと思います。

参加者：ウェルビーイングは初めて聞いた話なので、他の人知っているのかなと気になったのですが、知ってる人は富山県内で4-5%。自分が知らなくて当然だなと思った。成長戦略もSNSで載っていたなと調べて申し込んだのですが、定員が30名ということで受からないんじゃないかなと思っていたのですが、実際20名ということで、もう少しディスカッションする人がたくさんいればなと思いました。自分は再生可能エネルギーを中心に改めて話さしてもらったのですが、自分たちのチームでは10個くらいしかアイデア出なかったの、もう

ちょっと若い人たちが出て活発な意見が出れば、絆チームみたいに22個もアイデアがでたのかなと思います。

参加者：私は高校を卒業するまで朝日町に住んでいて今は神戸の大学に通っているのですが、知事のメッセージの中でも富山県にはなにもない思っている人が多いんじゃないかという話があって、実際私もそうでした。朝日町ってなにもないと思っていたのですが、調べたり話を聞いたりしていく中で特徴やいいところを知って、捨てたもんじゃないなど。明るい未来が見えるんだなと思いました。みなさんの話を聞いていても「こうしていきたい、ああしていきたい」という想いが強くて。みなさんがいるからこそ朝日より良くなっていくと思ったので、場所を設けて話をする。共有して発信することが大事だなと改めて思いました。

参加者：たくさんいい言葉を聞かせていただいて、明日から頑張ろうという気持ちになれました。16年前に農家のお母さんたちが手を挙げて農村を活性化しようということで食彩あさひという会社を立ち上げました。会社の平均年齢は80歳です。立ち上げたときから高齢者の施設はって言われてきたのですが、今ではまちの繋ぎを作ったり、交流がうまくいっているのではないかと自負しています。今日も80歳を過ぎたおばあちゃんたちがお正月に向けて餅をたくさん作っています。みなさん元気です。80歳を過ぎてタイムカードを打って仕事ができるという生きがい genuinely 幸せだと言っています。幸せ人口1000万人の中にぜひ入れていただきたいと思います。

参加者：魚津のほうからお嫁に来て黒部市の職員で定年を迎えてから朝日町にやっとじっくりと腰を下ろして見てみますと、山も近いし海も近いし朝日町中歩いていけるんじゃないかなと。いいところだなと。富山の同級会をしたら、富山市に住んでいる人からいいところに嫁に行ったねと言ってもらって、朝日町で骨を埋めるつもりで頑張っております。

参加者：朝日町といったらネガティブな人口が減ったりマイナスな意見を言われる方が多いのですが、ここに来たらすごく前向きで、町の未来を考える人がたくさんいてすごくよかったなと感じています。高齢者がすごく元気で強い町ですけど、若者も負けないようにできればと思っています。私は全国各地の起業家の方たちと縁があって、朝日町に来ていただくの良い町だとみなさんに言っていて水面下で拠点を構える企業が少しずつ増えています。この町もまだまだ無限大の可能性があると信じています。高齢者に負けず、若い人たちもどんどん元気にできる町になれるように応援していきたいと思います。

参加者：高齢化No.1です。知事さんたちがいる中でこうやって会話できたこと感謝しています。参加するときに成長戦略の資料を読ませていただいて、キーワードは人材育成かなと。高齢者の人材育成がなかったんですね。今日出ていいものか心配だったのですが、高齢者の方がたくさんいて嬉しくて。高齢者をどういう風に元気にするまちにしていくか。健康の長寿に磨きをかけるまちづくりをしていきたいなと思います。

知事：高齢者が大きなキーワードとなっていますが、今日事前に参加者のみなさんの顔ぶれを見て、70-80代で半分以上と。正直言って気が重いなど。知事なんとかしろと説教される

のかなと思って来たのですが大変失礼なことを思いながら来たなと大いに反省しています。大変元気な朝日町。国家の予算が発表され106兆円、過去最大です。必ず言われるのが社会保障費が伸びている。これは考え方、朝日町を見て変わりますよね。高齢者の医療費がとか。今言われたように80代の人たちが会社におられるとか高齢者の方が活性化されるとコストがプラスに変わる。日本国家を変えることに繋がっていくのです。高齢者が稼ぐ。高齢者も納税をし続ける。そんな元気な高齢化社会を朝日町から発信していただきたいと思いません。ぜひこの勢いを続けて欲しいんです。他の市町では勝手にビジョンセッションをやっていらっしゃるところもたくさんあります。ぜひ朝日町も老若併せて続けていただければと思います。

参加者：再生可能エネルギープロジェクトを立ち上げたのは5年前。その時、朝日町のスローガンはね「なくしてたまるか朝日町」なんです。これは寂しいなと思いました。私たちもなくしちゃならない。朝日町の町民こそ朝日町の将来を考えようと。何をしなければならぬのか。まずは行動を起こす。いろんなご意見を拝聴する。朝日町の将来を語って頂きまして参考になりました。感謝しています。私もあと数年かもしれませんけども頑張りたいと思います。

【鹿熊県議あいさつ】

まことにワクワクする2時間でした。新田知事にはこのビジョンセッションを通して朝日町に強く印象づけをされたことと思います。改めて私も聞かせていただいて、いい意味で楽観主義でいきたいと思えます。やればできるということです。力を合わせれば、今日出たアイデアもやればできると思えます。ビジョンセッションを通してできることからやっていると。もっとも勇気づけられたのは笹原町長ではないかなと思います。私も後押しをして参りたいと思えます。みなさんと共にいいふるさをつくっていききたいと思えます。よろしくお願ひします。

【中尾成長戦略会議座長あいさつ】

消えてたまるか朝日町、読んで参りました。非常にぐっとくる本です。私ここへ新幹線に乗ってきました。近いですね。朝日遠いなと思っていただけ。今日女性が多くてびっくりしました。私のインテックという会社も部下が朝日からたくさん出まして。いつもうちはかかあ天下だと。私の印象を持ってきたのですが、今日目の当たりにしたような気がします。だからこそいいんだと。すばらしい偉人もたくさんでています。本当にたくさんの人材を輩出しています。なくしてたまるか朝日町、書いてある通りだと思います。実は夢を見ていて。85歳になってしまいましたけど、まだ捨ててないんですけど。60歳になったら就職できる会社を作りたい。その代わり給料は毎年下がっていくんですけど。60歳は大変な経験ですね。教育は60歳から本当の人間になると思っています。なんで学校の先生は60歳で定年になっちゃうんだらうと。生きているうちにやってみようかと思っています。さらに良い朝日町になっていくことを願っています。来てよかったです。ありがとうございました。